

ほけんのまどから

5月感染症情報

りんご病(伝染性紅斑) 幼児 1名
乳児クラスでは咳・鼻水・発熱・下痢等の風邪症状のあるお子さんが多くみられました。新生活の疲れが出てくる時期です。食事・睡眠・遊びが十分でない場合はお休みをしていきましょう。

さくら(4歳)・けやき(5歳)さん



6/14(金)は区の歯科衛生士さんによる歯科健康教室です。
歯ブラシ・歯ブラシ入れ(ビニール袋など)両方に記名をしたものを6/10(月)までにお持ちください。また、歯垢の染め出しをするので汚れても良い服で登園してください。



園の周りにも蚊の姿がちらほら…子どもの皮膚は弱く、刺された後にかきむしることで【とびひ】になることも多いです。家庭と園で虫よけ対策をしてお肌を守っていきましょう。



虫よけについて



☆園での虫よけ対策☆

- ・お散歩前には「イカリジン」成分配合の虫よけを肌に塗ります。子どもへの使用制限がなく、服の上からでも効果のあるものです。虫よけを直接吸い込まない様に配慮して使用します。
- ・刺された後に皮膚トラブルが起きやすいお子さんや、必要な方は散歩時に虫よけ効果のあるスモックを着ていきます。**ご家庭で薄手の長袖羽織りを用意していただいても構いません。(フードのないもの)**
- ・窓付近・散歩車には吊り下げ式の虫よけを設置します。夕方は吊り下げ式の蚊取り線香を使用します。
- ・刺されてしまった場合はムヒを適宜使用します(乳児クラスはムヒベビー)

☆家庭でできること☆

- ・長ズボンをはく(速乾性のあるものがおススメ) 黒い服を避ける(白の10倍刺される研究結果が)
- ・お散歩前に薄手の長袖上着を用意
- ・虫よけをしてから登園する。保湿・塗り薬→日焼け止め→虫よけの順番で
- ・乳液等で肌を保湿する。バリア機能を高め肌荒れを予防します。
- ・足裏をアルコールで拭く
(足裏の菌の種類が多い人は刺されやすい研究があります。アルコール過敏の人は×)



☆おねがい☆

- ・**虫よけパッチ、ムヒパッチ、虫よけリングは誤飲の危険があるため使用できません。**
- ・保育園内で**虫よけスプレー缶**の使用はできません(他のお子さんが吸い込む危険がある為。人によっては咳や喘息を誘発することがあります)
- ・虫よけリングなどをつけて登園する場合は、リュックやロッカーに入れず保護者の方がお持ち帰りください。(誤飲や紛失を防ぎます)

プール・水遊び時期の水いぼ、とびひについて

その他、化膿しているケガ、湿疹、耳の症状、眼の症状などは職員にご相談下さい。

☆水いぼ☆

プール・水遊び可能(水遊び遊具の共有は不可)

水いぼのある部分は水着、ラッシュガードで覆って参加します。

積極的治療(液体窒素やピンセット除去など)

と自然治癒を待つ方法があります。

小児科か皮膚科でご相談下さい。



☆とびひ☆掻き壊した傷から菌が入り皮膚の赤み、水ぶくれなどの症状がでます。

プール・水遊び不可

・患部をガーゼや絆創膏等で覆ってください

・**接触感染の恐れがある為受診をしてください**

